

若手会員の会 活動報告

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jws/welnet/>

(若手会員の会からののお知らせはホームページにも掲載しています)

平成 20 年度秋季全国大会イブニングフォーラム報告

若手会員の会運営委員会副委員 川人 洋介 (大阪大学)

Report: WELNET Evening Forum at JWS National Meeting in Autumn 2008

去る 9 月 11 日 (水), 平成 20 年度 溶接学会秋季全国大会 2 日目の夕刻に, 恒例となっている「若手会員のためのイブニングフォーラム」を以下の要領で開催しました。

テーマ: 若手の研究ポスターセッションと交流会

日時: 平成 20 年 9 月 11 日 (水) 18:00 ~ 19:30

場所: 北九州国際会議場イベントホール

今回も, 北は岩手大学から, 南は九州工業大学までの全国から, 44 名のパネラーにご参加いただき, ポスターセッション形式でイブニングフォーラムを開催しました

(図 1 参照). このような形式のイブニングフォーラムは, 21 世紀最初の秋季全国大会から毎年開催しており, 今年で 8 回目であり, 参加者は 80 名程度でした. 学会内の講演時間では十分でなかった議論を深め, より詳細な最新情報を得る良い機会になっただけでなく, 若手会員同士が, 自由に意見交流などができる場として活用されていたようでした. また, 各大学の学生の参加が多く, 他大学の学生・教員や企業の若手研究者との交流を深め, 自分の研究分野とは違う分野のポスターの前で熱心にディスカッションされていました (図 2, 図 3, 図 4 参照). 特に, 今回は, 外国の研究者の参加もあり, 苦労しながらも英語で, 自分たちの研究内容を説明している学生の



図 1 パネラーの皆さん



図2 フォーラム風景（その1）



図3 フォーラム風景（その2）

姿が印象的でした。第6回から、パネラーを含む参加者全員の投票により、ポスターの内容と発表の分かり易さを中心に評価し、上位3名のパネラーにポスター発表賞を授与しています。第3回目のポスター発表賞は、以下の3名の皆様に決定いたしました（図5参照）。受賞：渡辺氏（川重）、宮廻氏（接合研）、井上氏（接合研）

1. 渡辺大介（川崎重工）

「5000系アルミ合金におけるフリクションスポット接合性に関する検討」

2. 宮廻滋（大阪大学接合科学研究所）

「アーク溶接プロセスにおける熔融池表面の二次元温度場の可視化」

3. 井上岳（大阪大学接合科学研究所）

「高張力鋼の摩擦攪拌接合性」

今後も若手会員の会では、秋季全国大会でこのようなポスターセッション形式のフォーラムを毎年開催することとしています。また、若手会員の会は、若手会員の皆様が参加し易く、若手会員同士の交流の場となり、若手会員の緊密なネットワーク形成の良い機会となるような、有益な各種行事を実施したいと考えています。ご興味のある方は是非お気軽にご参加下さい。

最後になりましたが、本フォーラムを開催するにあたってご尽力頂きました九州工業大学の北村先生をはじめとする若手会員の皆様、すべてのパネラー、参加して頂いた皆様と関係各位に心より御礼申し上げます。

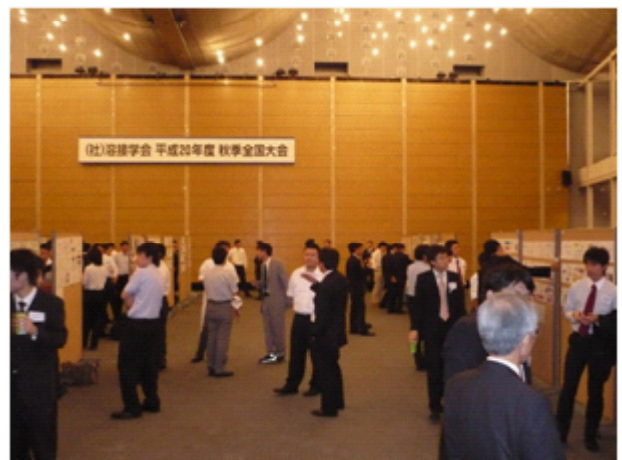


図4 フォーラム風景（その3）



図5 ポスター発表賞受賞式の様子